医療・福祉

薬だつ知識 ⑧⑥

頼れる身近な存在に

まちかど相談薬局

薬局には処方箋がないと入りにくいですか？ 健康やお薬について相談をするのは、さらにハードルが高く感じますか？

実は薬局は、みなさんのさまざまな相談に対応させていただけることをうれしく思っています。そのために薬剤師は日々多岐にわたる健康情報、新たな医療や医薬品に関する情報を得るためにアンテナを張っています。多くの研修会にも参加し、自己研さんしながら備えています。また患者と病院、医師の間に入り、要望を伝え対処する橋渡しの役割も担っています。

「まちかど相談薬局」のステッカー（右上）やのぼり旗

どこの薬局も対応は変わりませんが、相談する目印として「まちかど相談薬局」があります。

鹿児島県薬剤師会が2023年度から、県の委託を受けて展開している「国保ヘルスアップ支援事業」の取り組みの一つです。お薬の重複チェック、複数の薬を服用する多剤に関する相談・提案をはじめ、お薬全般に関する「おくすり相談窓口」です。この「まちかど相談薬局」を掲げる薬局には、薬剤師会から共通のステッカーやのぼり旗、相談対応に活用できる啓発資料やヒアリングシートなどを配布しています。

すでに県内の約3分の1の薬局が「まちかど相談薬局」として参加し、地域住民にとって頼れる身近な相談所になれるよう頑張っています。お薬や健康に関することはもちろん、在宅療養のこと、また医師に言いそびれたこと、医師に相談する前に聞きたいことでも大丈夫です。ぜひお気軽にご相談ください。地元の薬剤師に聞きもんそ！

（鹿児島県薬剤師会医療福祉委員会・赤池剛）

令和７年１月７日（火）

８６．まちかど相談薬局